



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月6日

上場会社名 株式会社ダイイチ
 コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若園 清

問合せ先責任者 (役職名) 企画IR部企画IR室長 (氏名) 柳内 祐子

TEL 0155 - 38 - 3456

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	21,957	3.1	1,154	25.2	1,160	24.9	771	22.8
2020年9月期第2四半期	21,299	5.0	922	12.7	929	12.4	628	53.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	67.53	
2020年9月期第2四半期	55.01	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	19,968	13,192	66.1
2020年9月期	19,509	12,604	64.6

(参考)自己資本 2021年9月期第2四半期 13,192百万円 2020年9月期 12,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		16.00	16.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.4	1,719	4.0	1,722	4.7	1,147	1.8	100.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	11,438,640 株	2020年9月期	11,438,640 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	12,088 株	2020年9月期	12,088 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	11,426,552 株	2020年9月期2Q	11,426,552 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の停滞により、依然として厳しい状況が続いたものの、海外経済の回復を受けて、輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。一方、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えておらず、緊急事態宣言の発出や外出自粛の要請など、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。

個人消費につきましては、感染拡大に伴う雇用・所得環境の悪化や特別定額給付金の反動による可処分所得の減少により、先行き不透明で、極めて厳しい状況で推移しております。

スーパーマーケット業界は、外出自粛に伴う「巣ごもり消費」の継続により、食料品や生活必需品などの需要増が認められたものの、お客様の「低価格志向」と「生活防衛志向」の高まり、企業間の価格競争の激化などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社は、これまで通り食品スーパーマーケット事業に資源を集中し、当事業年度の重点実施事項である、①新型コロナウイルス感染症対策の強化、②新規出店(札幌ブロック6号店)の事前準備の徹底、③粗利益率の目標達成のための仕組み作り、④人手不足の解消と人時生産性の向上、⑤人材教育と福利厚生充実の充実、⑥コンプライアンスの更なる徹底、⑦イトーヨーカ堂との共同販促の強化を徹底し、お客様の更なる信頼と支持を得るため、新鮮かつ安全で安心なお買い得商品の提供に努め、引き続き地域のお客様の食文化と食のライフラインに貢献できる店舗作りに取り組んでまいります。

また、コーポレート・ガバナンスの強化を図るとともに、「フレッシュ&ハート」を合言葉に、①地域No.1の店作り、人づくり、商品作りの徹底、②従業員全員が生き活きと澁刺とした職場環境の構築、③心を込めた接客、働く仲間への思いやり、商品を大切に作る心の取り組みを進めております。加えて、勤勉で優秀な従業員の下で、自由活発な風通しの良い企業風土の醸成に努めてまいります。

地域貢献活動の一環として、日常のお買い物にご不便されているご高齢者の方やお身体のご不自由な方々に商品をお届けする「移動スーパー(とくし丸)」事業は、3月末現在で10号車となりました。

店舗の改装につきましては、10月に「みなみ野店(帯広ブロック)」、3月に「花咲店(旭川ブロック)」をリニューアルオープンいたしました。

イトーヨーカ堂との協働につきましては、セブンプレミアム商品の取り組み強化、帯広地区と旭川地区に加えて札幌地区においても共同の販促を実施いたしました。

売上高につきましては、感染予防関連商品や巣ごもり需要の拡大に加え、週間の販売計画に連動した売場作り、お客様の期待に沿える品揃え、サービス、接客に向けた継続的なレベルアップの取り組みの結果、前年同期に比べ3.1%増となりました。また、地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは97億1百万円(前年同期比4.1%増)、旭川ブロックは、豊岡店の閉店(2020年3月8日)の影響により64億70百万円(前年同期比2.3%減)、札幌ブロックは57億81百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

売上総利益率につきましては、商品ロスの削減や在庫効率の改善などにより、前年同期に比べ0.3ポイント改善し、25.2%となりました。また、販売費及び一般管理費の売上高に対する比率は21.2%となり、前年同期に比べ0.7ポイント改善いたしました。

新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、お客様と従業員の安全安心を最優先に、以下の施策を実施しております。

- ・ 出入り口におけるアルコール消毒器の設置
- ・ レジにおける飛沫防止ガードの設置
- ・ お客様のレジ待ち時におけるソーシャルディスタンス確保のための目印の設置
- ・ 試食の提供やバラ売りなどの中止による販売方法の変更
- ・ 密集を避けるためチラシ、販売促進企画の一部停止
- ・ お客様に対する感染防止対策の周知
- ・ 従業員に対する健康管理及び衛生管理の徹底など

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は219億57百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は11億54百万円(前年同期比25.2%増)、経常利益は11億60百万円(前年同期比24.9%増)、四半期純利益は7億71百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ4億59百万円増加の199億68百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加6億99百万円、商品及び製品の増加85百万円及び売掛金の増加58百万円に対し、その他の減少1億53百万円等により、前事業年度末に比べ6億90百万円増加の75億65百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産のその他の増加86百万円に対し、土地の減少1億48百万円、建

物の減少86百万円及び投資その他の資産のその他の減少46百万円等により、前事業年度末に比べ2億30百万円減少の124億3百万円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ1億29百万円減少の67億75百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加2億18百万円に対し、その他の減少2億27百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少74百万円及び賞与引当金の減少56百万円等により、前事業年度末に比べ1億95百万円減少の51億63百万円となりました。固定負債においては、その他の増加68百万円及び退職給付引当金の増加11百万円に対し、役員退職慰労引当金の減少9百万円等により、前事業年度末に比べ65百万円増加の16億12百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ5億88百万円増加の131億92百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加5億88百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は66.1%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月5日の「2020年9月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

通期の業績予想に対する第2四半期累計期間の実績の進捗状況は以下のとおりであります。

なお、各利益項目の通期予想に対する第2四半期実績の進捗率は、若干高めに推移しておりますが、第3四半期以降において、新型コロナウイルス感染症拡大初期における売上高急伸の反動、店舗の改装による関連費用の発生、店舗設備等の修繕費用の発生を想定しているためです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想 (A)	42,000	1,719	1,722	1,147	100.41
第2四半期実績 (B)	21,957	1,154	1,160	771	67.53
進捗率(%) (B)/(A)	52.3	67.2	67.4	67.3	67.3

（注）現時点で、新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないことから、先行きについては、非常に見通しが難しい状況となっております。従いまして、当期の業績予想につきましては、前期の業績を参考に、通常予測可能な事項で算出しております。今後、大幅な変動が見込まれる場合には、業績予想の修正を公表する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,027,081	5,726,937
売掛金	539,306	598,225
商品及び製品	846,751	932,000
原材料及び貯蔵品	1,525	1,084
その他	462,336	308,913
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	6,875,501	7,565,661
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,902,863	3,816,103
土地	6,060,129	5,911,863
その他(純額)	721,927	808,123
有形固定資産合計	10,684,920	10,536,090
無形固定資産		
その他	14,490	14,490
無形固定資産合計	14,490	14,490
投資その他の資産		
長期貸付金	782,579	747,454
その他	1,151,768	1,104,982
投資その他の資産合計	1,934,347	1,852,437
固定資産合計	12,633,758	12,403,018
資産合計	19,509,260	19,968,680
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,537,317	2,756,304
1年内返済予定の長期借入金	146,545	72,170
未払法人税等	409,070	353,100
賞与引当金	183,333	126,344
その他	2,082,499	1,855,443
流動負債合計	5,358,766	5,163,362
固定負債		
長期借入金	4,789	—
退職給付引当金	643,280	655,086
役員退職慰労引当金	169,211	159,634
資産除去債務	16,980	16,980
その他	712,170	780,652
固定負債合計	1,546,431	1,612,353
負債合計	6,905,197	6,775,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	9,413,017	10,001,853
自己株式	△2,980	△2,980
株主資本合計	12,615,389	13,204,226
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,327	△11,262
評価・換算差額等合計	△11,327	△11,262
純資産合計	12,604,062	13,192,964
負債純資産合計	19,509,260	19,968,680

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,299,378	21,957,423
売上原価	15,986,475	16,430,141
売上総利益	5,312,902	5,527,281
営業収入	281,014	271,640
営業総利益	5,593,917	5,798,922
販売費及び一般管理費	4,671,388	4,644,082
営業利益	922,529	1,154,839
営業外収益		
受取利息	3,436	2,970
受取配当金	208	193
その他	4,717	3,986
営業外収益合計	8,362	7,151
営業外費用		
支払利息	1,159	356
その他	581	919
営業外費用合計	1,740	1,276
経常利益	929,151	1,160,714
特別損失		
固定資産売却損	—	25,593
固定資産除却損	1,705	6,535
役員退職慰労金	—	7,400
キャッシュレス還元対策費用	12,352	—
特別損失合計	14,057	39,529
税引前四半期純利益	915,093	1,121,185
法人税、住民税及び事業税	263,012	313,801
法人税等調整額	23,489	35,723
法人税等合計	286,501	349,524
四半期純利益	628,591	771,661

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。